

「恩師の思い出特集」を終えて

上原 昇 (2組)

今回の特集では、全 11 クラスから 22 名プラス 69 期から特別参加 1 名で計 23 名の方から原稿を送っていただきました。編集者として、皆さんの協力を心から感謝いたします。何度もしつこくお願いをした人には、なにとぞご容赦ください。

投稿者は海外からはインド、国内では関西、東北在住者からと広範囲にわたっています。3 人の女性同期からも懐かしい原稿を送っていただきました。

昨年 11 月に 9 組担任の山浦巖先生が亡くなり、その追悼文が大勢の人から寄せられたのがきっかけで、今年の 1 月下旬に「あの頃の恩師の思い出」の企画をスタートさせました。せっかくの特集なので HP の画面も一工夫が必要かと思い、同期のグラフィックデザイナー澤崎健一君(3組)の力を借りて格調高いデザインが出来上がりました。

投稿者の写真を、卒業時のものと近影を並べて掲載することを提案してくれたのは HP 管理者の原田義則君(3組)でした。原田君の発案で作った HP の写真ライブラリー (特に卒業アルバム) が大変役立ちました。

特集開始後すぐに 8 組担任の清水周先生が亡くなられたのは不思議な巡りあわせです。特集掲載期間中の HP アクセス数は、普段の 4、5 割増しとなり関心と呼んだようです。同期だけでなく、同窓の先輩たちから「面白く見させてもらっているよ」と言った感想もいただきました。後輩で関東同窓会会長の近藤正昭さん(69 期)からは、番外で依田保夫先生の思い出寄稿がありました、上田高校在職の長かった先生は、多くの期を跨って担任を務めていますので、思い出も共有しているのです。

当時の担任の先生のプロフィールも纏めてみましたが、確認した範囲で存命なのはお二人だけだということも分かりました。

3 月末には、そのなかの一人、10 組担任の田中格先生 (今年 90 歳) から、近況のメールをいただくというサプライズもありました。

投稿は一旦 3 月末で締め切りますが、「思い出」を思い出した人はいつでも受け付けます。



新緑の古城の門

(2023 年 3 月 31 日) 以上